まるわかり

市指定無形民俗文化財

行徳の神輿文化と祭礼

行徳地域では、行徳街道を中心にまちごとに祭礼が行われており、行徳で製造・修理が行われた神輿や獅子頭を地域独特の方法でもみ（担ぎ）ながら、まちの中を練り歩きます。行徳は、全国有数の神輿づくりのまちとしても知られており、本市では平成28年度から行徳地域の調査を進め、定例教育委員会の議決を経て、11月3日に「行徳の神輿文化と祭礼」が市川市指定無形民俗文化財に指定されました。

問 ☎701-8399考古博物館（市指定無形民俗文化財について）

無形民俗文化財とは

無形民俗文化財は、衣食住、生業、信仰、年中行事などに関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術で無形で伝えられてきたものを指します。市内ではこれまでに市指定無形民俗文化財として、御奉謝、国府台辻切りの2件を指定しており、今回の「行徳の神輿文化と祭礼」で3件目の指定となります。

▲神輿渡し（2023年 五ヶ町の祭礼）

神輿、祭礼ってなんだろう

祭礼では初めに、神社の本殿に祭られている御神体を神輿に遷す御霊遷しの儀式を行います。そして、神様が乗った神輿を担いでまちを練り歩くことで、神様がまちを巡行します。これを渡御といい、渡御を終えた神輿が神社に帰ると、御神体を神輿から神社に還す御霊還しの儀式が行われ、祭礼が終わります。

つまり、神輿は神様の乗り物であり、祭礼は儀式で始まり儀式で終わる神事なのです。

左の写真は五ヶ町の祭礼での神輿渡しの神事の様子です。5つの町共有の神輿を担ぎつないでいくこの祭礼では、神輿が次の町へ渡っていくごとに厳粛な神事が行われます。

一般的に神輿を「担ぐ」といいますが、行徳では「もむ」と表現する地域が多いです。

行徳の祭礼の特徴

行徳もみ

さし

天の神様に五穀豊穣を感謝し、神輿を片手で高く掲げ時計回りに回転します。

地すり

地の神様に五穀豊穣を感謝し、神輿を地面すれすれまで下げて時計回りに回転します。

放り受け

神輿を放り上げ、宙に浮いている間に2回手をたたきます。これは神様を喜ばせるためなどといわれています。

基本の担ぎ

白装束の担ぎ手たちが神輿を担ぎ、「わっしょい」の掛け声で揺すらずに前進し「行徳もみ」を行います。今回指定された9つの祭礼のうち、右記地図の①・③～⑦の祭礼が該当。

江戸前担ぎ

半纏を着た担ぎ手たちが「エイヤ」「ソイヤ」など自由な掛け声で神輿を揺すりながら前進します。「行徳もみ」も行います。右記地図の⑧⑨の祭礼が該当。

獅子頭

右記地図②④の祭礼では、雄と雌2基の獅子頭が巡行します。獅子頭は、災いを祓うとされる縁起物で、②の祭礼では2基一緒に、④の祭礼では別の順路を巡行します。

指定された9つの祭礼 行徳の祭礼MAP

③五ヶ町の祭礼
神 神明社豊受太神宮
地 本行徳、本塩
年 2026年

①上妙典の祭礼
神 八幡神社
地 妙典一丁目、二丁目
年 2026年

④関ケ島の祭礼
神 胡録神社
地 関ケ島
年 2027年

②下妙典の祭礼
神 春日神社
地 妙典三丁目
年 2027年

⑥押切の祭礼
神 押切稲荷神社
地 押切
年 2028年

⑤伊勢宿の祭礼
神 豊受神社
地 伊勢宿
年 2026年

⑧相之川の祭礼
神 日枝神社、香取神社
地 相之川
年 2025年

⑦四カ村の祭礼
神 香取神社
地 欠真間、香取、湊新田、湊
年 2025年

⑨新井の祭礼
神 熊野神社
地 新井、島尻、広尾、南行徳
年 2027年

凡例：⛩対象の祭礼の神社　神 神社名　地 地域　年 次回開催予定年

この地図は現在のまちの位置を示すものです。

写真・情報提供
祭りが10倍おもしろくなる 行徳の祭りまるわかりサイト
わっしょい！行徳

市広報番組「いちにゅ～」でも行徳神輿を分かりやすく紹介しています。行徳もみも見られますので併せてご覧ください。

▲市公式YouTube

行徳まつり実行委員会 神輿部会 森保 会長

行徳の祭りに興味を持った方へ

「神輿をもみ（担ぎ）たい」と思った方は、行徳最大の神輿イベント「行徳まつり」に参加してください。上記①～⑨の各地区の祭礼は3～4年に一度ですが、行徳まつりは毎年10月末に開催されます。行徳中のもみ手が集まり、みんなで協力して神輿をもむ大変盛り上がるイベントです。

白装束や半纏の貸し出しもあり、初めての方も大歓迎です。伝統ある行徳の神輿文化と祭礼を守っていくために、一緒に盛り上げ続けていきましょう。

問 ☎359-1120行徳まつり実行委員会（企画調整課内）

▲行徳まつり2024